

平成23年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

中学校2学年 P調査問題  
(問題, 正答)

国語, 数学, 英語

長野県教育委員会

平成二十三年度 P 調査問題 中学校二年国語(一)

二年( )組( )番 氏名( )

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【二】次の一線のついた漢字のよみがなを  の中にひらがなで書きなさい。

約束を履行する。

【二】次の一線のついたひらがなを  の中に漢字に直して書きなさい。

森羅ばんしようを網羅する。

【三】次の一文は主語・述語の対応関係が正しくありません。全体の意味は変えずに二つの文に分けて  の中に書きなさい。なお、二文めは述語「目標です」に対応する主語を補いなさい。

わたしたちは、県大会出場を目指し、毎日の部活動に取り組んでいて、部員全員の大きな目標です。

一文め

二文め

【四】次の文の一線部を現代仮名遣いに直して  の中に書きなさい。

いとわろかりしかども、のたまひしに違はましかばと、この花を折りてまうで来たるなり。  
(「竹取物語」より)

正答数

問/5問



平成 23 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 ( 1 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

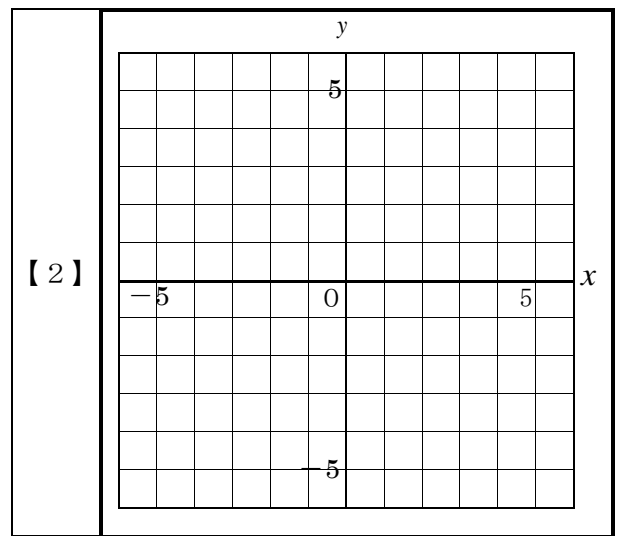
問 / 5 問

( 答えは全て解答らんにかきなさい。 )

【 1 】  $25 - 5 \times (-4)$  を計算しなさい。

【 1 】

【 2 】 比例の関係  $y = -2x$  のグラフをかきなさい。



【 3 】 一次方程式  $3x = x + 4$  の解を求めるために、左辺  $3x$  と右辺の  $x + 4$  の  $x$  に、 $-2$  から  $4$  までの整数をそれぞれ代入して、左辺と右辺の値を調べました。

|              | 左辺 $3x$ の値 | 右辺 $x + 4$ の値 |
|--------------|------------|---------------|
| $x = -2$ のとき | $-6$       | $2$           |
| $x = -1$ のとき | $-3$       | $3$           |
| $x = 0$ のとき  | $0$        | $4$           |
| $x = 1$ のとき  | $3$        | $5$           |
| $x = 2$ のとき  | $6$        | $6$           |
| $x = 3$ のとき  | $9$        | $7$           |
| $x = 4$ のとき  | $12$       | $8$           |

【 3 】

この方程式の解について、下の **ア** から **エ** までのの中から正しいものを 1 つ選び、記号で答えなさい。

**ア**  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに  $6$  になるので、 $6$  はこの方程式の解である。

**イ**  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに  $6$  になるので、 $2$  はこの方程式の解である。

**ウ**  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに  $6$  になるので、 $2$  と  $6$  はこの方程式の解である。

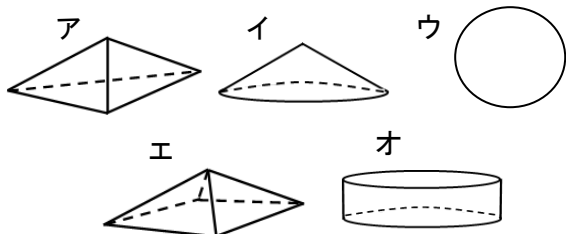
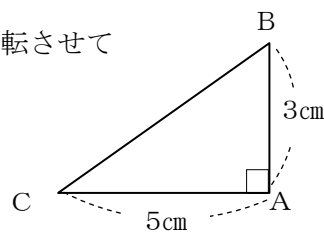
**エ**  $-2$  から  $4$  までの整数の中には、この方程式の解はない。

平成 23 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 ( 2 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【4】 右の図のような直角三角形ABCを、直線ABを軸として1回転させて立体をつくります。

できる立体の見取図を下のア～オから選び、体積を求めなさい。  
ただし、円周率は $\pi$ とします。

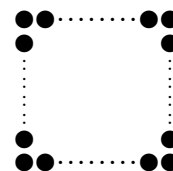


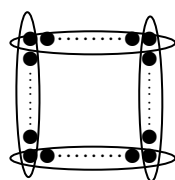
|     |     |               |
|-----|-----|---------------|
| 【4】 | 見取図 | 体積            |
|     |     | $\text{cm}^3$ |

【5】 右の図のように1辺に同じ個数のご石を並べて、正方形の形をつくります。

山本さんは、1辺に並べるとご石の個数を  $x$  個として、全体のご石の個数を、 $4x - 4$  (個) と  $4(x - 2) + 4$  (個) の2つの式で表しました。

そして、 $4x - 4$  (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、下のように説明しました。

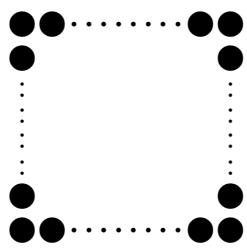




【説明】  $4x$  の  $x$  は、左の図の  $\bigcirc$  のことです。  
それが4つあるので4倍します。  
4を引くのは、 $\bigcirc$  でご石の数を数えると四隅すみのご石を2回数えてしまうからです。  
だから全体のご石の個数は、 $4x - 4$  (個) と表せます。

$4(x - 2) + 4$  (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の説明を参考に説明しなさい。

【説明】



【5】

◇学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。  
当てはまる番号に○をしましょう。(数学だけでなく、全教科の学習時間です。また、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 3時間以上           | 2 2時間以上, 3時間より少ない |
| 3 1時間以上, 2時間より少ない | 4 30分以上, 1時間より少ない |
| 5 30分より少ない        | 6 まったくしない         |

平成 23 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

問 / 5 問

次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

＜カナダから来た女子中学生 Stacy (ステイシー) が青葉中学校で自己紹介をしています。＞

Hello, everyone. My name is Stacy. I'm from Canada.

I live in Aoba City with my family now.

I have some pictures of my family. Look. This is my mother.

She is cooking in the kitchen. She can cook very well.

This is my brother, Tom. He is ①( help ) her.

This is my father. He works for a company in Aoba.

He likes sports very much. ②( very / basketball / plays / he / well ).

I like tennis very much. I play it every Sunday.

I like music, too. I practice the piano on Friday. It is difficult, but it's very interesting.

I want to learn Japanese. Please teach me Japanese.



〔注〕 Aoba City : 青葉市      kitchen : 台所      work for ~ : ~で働く      company : 会社  
 practice : 練習する      difficult : 難しい      interesting : おもしろい  
 want to learn : 学びたい      teach me ~ : 私に~を教える

【1】 下線部①の ( ) 内の語を、最も適切な形になおして、1語で書きなさい。

【2】 下線部②が意味の通る英文になるように、( ) 内の5語を並べかえて書きなさい。  
 ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書くこと。

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは ( ) 内に1語ずつ書きなさい。

【3】 Does Stacy live with her family now?

( ), ( ) ( ).

【4】 When does Stacy play tennis?

( ) ( ) ( ) ( ) ( ).

【5】 あなたがよくすること (スポーツや趣味など) と、そのことについての気持ち (おもしろい、難しいなど) を英語2文で書きなさい。

〔解答欄〕

|     |                      |     |       |
|-----|----------------------|-----|-------|
| 【1】 |                      | 【2】 | ( ) . |
| 【3】 | ( ), ( ) ( ).        |     |       |
| 【4】 | ( ) ( ) ( ) ( ) ( ). |     |       |
| 【5】 | -----                |     |       |

正答

二年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【二】次の一線のついた漢字のよみがなを  の中にひらがなで書きなさい。

正答数

問/5問

約束を履行する。

りこう

【二】次の一線のついたひらがなを  の中に漢字に直して書きなさい。

森羅ばんしょうを網羅する。

万象

【三】次の一文は6主語・述語の対応関係が正しくありません。全体の意味は変えずに二つの文に分けて  の中に書きなさい。なお、二文めは「目標です」に対応する主語を補いなさい。

わたしたちは、県大会出場を目指し、毎日の部活動に取り組んでいて、部員全員の大きな目標です。

一文め わたしたちは、県大会出場を目指し、毎日の部活動に取り組んでいます。

二文め 県大会出場は、部員全員の大きな目標です。

【四】次の文の一線部を現代仮名遣いに直して  の中に書きなさい。

いとわろかりしかども、のたまひしに違はましかばと、この花を折りてまうで来たるなり。

(「竹取物語」より)

のたまひしに

問三 放送委員の田中さんは、中学校総合体育大会に出場する剣道部を応援するお昼の校内放送番組をつくることになりました。そこで、剣道部を取材し、次のような取材メモをつくりました。

〈取材メモ A〉

団体戦は五人一チーム。しかし、男子、一年三名、二年二名、三年二名の計七名、女子、一年三名、二年一名、三年四名、計八名という少人数のため、三年だけではチームを組めない。そこで、学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切にしてきた。

〈取材メモ C〉

今年のチームの強みは、ねばり強さ。地区予選では、代表戦にまでもつれた試合や、わずかな本数差で勝った試合などもあった。今大会でも粘り強く戦っていきたい。

〈取材メモ B〉

今大会の目標は「県大会出場」。新人戦では、あと少しというところで県大会出場を逃した。そのときのくやしさを晴らそうと、部員全員でこの目標に向かって練習を重ねてきた。

〈取材メモ D〉

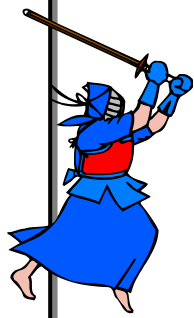
剣道部顧問の先生の話。「剣の理法の修練による人間形成の道である」が剣道の理念。一回の立合い、一回の勝負の中に人間形成の過程がある。「打って反省、打たれて感謝」の気持ちを忘れずに。

< 取材メモ >

【五】取材メモをもとに、田中さんは、次のような放送原稿をつくりました。「まとめ」に適切につながる

「内容①」となるように、右の四つの取材メモ(A、B、C、D)から最も良いもの一つを選び、その記号と選んだ理由を具体的に書きなさい。ただし、次の条件にしたがって書くこと。

- 〈条件ア〉 「チームワーク」という言葉を使って書くこと。
- 〈条件イ〉 取材メモの言葉を使って書くこと。
- 〈条件ウ〉 五十文字以上七十文字以内で書くこと。



< 放送原稿 >

|     |   |
|-----|---|
| はじめ | ○月○日○曜日のお昼の放送です。<br>今日は、○日に大会に出場する剣道部のみなさんへの応援番組をお送りします。  |
| 内容① | ※ (取材メモ <input type="checkbox"/> ) をもとにした剣道部の紹介   |
| 内容② | ※ (取材メモ B) をもとにした剣道部の紹介   |
| まとめ | このように、チームワークを大切にしてください。新人戦のくやしさをばねに今日まで練習を続けてきた剣道部のみなさん。大会では、みなさんの思いがかなうよう、精一杯戦ってください。がんばれ、剣道部！ |
| おわり | これで、○月○日の、お昼の放送を終わります。  |

選んだ取材メモ

取材メモ A

選んだ理由

|                        |                         |                         |    |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|----|
| 「学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切に | 「という部分が、まとめの「チームワークを大切に | 「に」に対応し、筋がとおってわかりやすくなるか | ら。 |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|----|

50字



**正答**

平成 23 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 ( 1 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

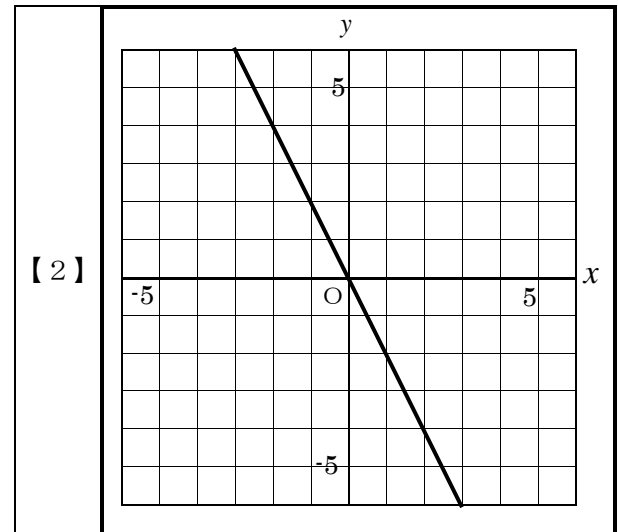
問 / 5 問

( 答えは全て解答らんには書きなさい。 )

【 1 】  $25 - 5 \times (-4)$  を計算しなさい。

【 1 】

4 5

【 2 】 比例の関係  $y = -2x$  のグラフをかきなさい。

【 3 】 一次方程式  $3x = x + 4$  の解を求めるために、左辺  $3x$  と右辺の  $x + 4$  の  $x$  に、 $-2$  から  $4$  までの整数をそれぞれ代入して、左辺と右辺の値を調べました。

|              | 左辺 $3x$ の値 | 右辺 $x + 4$ の値 |
|--------------|------------|---------------|
| $x = -2$ のとき | $-6$       | $2$           |
| $x = -1$ のとき | $-3$       | $3$           |
| $x = 0$ のとき  | $0$        | $4$           |
| $x = 1$ のとき  | $3$        | $5$           |
| $x = 2$ のとき  | $6$        | $6$           |
| $x = 3$ のとき  | $9$        | $7$           |
| $x = 4$ のとき  | $12$       | $8$           |

【 3 】

イ

この方程式の解について、下のアからエまでの中から正しいものを 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに  $6$  になるので、 $6$  はこの方程式の解である。

イ  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに  $6$  になるので、 $2$  はこの方程式の解である。

ウ  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに  $6$  になるので、 $2$  と  $6$  はこの方程式の解である。

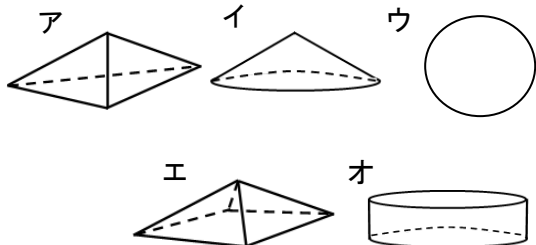
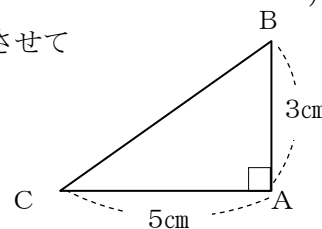
エ  $-2$  から  $4$  までの整数の中には、この方程式の解はない。

平成 23 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 ( 2 )

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

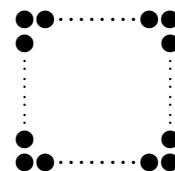
【4】 右の図のような直角三角形ABCを、直線ABを軸として1回転させて立体をつくります。

できる立体の見取図を下のア～オから選び、体積を求めなさい。  
ただし、円周率は $\pi$ とします。



|     | 見取図 | 体積                   |
|-----|-----|----------------------|
| 【4】 | イ   | $25\pi \text{ cm}^3$ |

【5】 右の図のように1辺に同じ個数のご石を並べて、正方形の形をつくります。  
山本さんは、1辺に並べるとご石の個数を $x$ 個として、全体のご石の個数を、 $4x - 4$  (個) と  $4(x - 2) + 4$  (個) の2つの式で表しました。



そして、 $4x - 4$  (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、  
下のように説明しました。

【説明】  $4x$  の  $x$  は、左の図の ○ のことです。  
それが4つあるので4倍します。  
4を引くのは、○でのご石の数を数えると四隅のご石を2回数えてしまうからです。  
だから全体のご石の個数は、 $4x - 4$  (個) と表せます。

$4(x - 2) + 4$  (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の説明を参考にし  
て説明しなさい。

【説明】  $4(x - 2)$  の  $x - 2$  は、左の図の ○ のことです。  
{一辺から両端のご石を除いた個数です。} それを4つあるので4倍します。  
4を加えるのは、○でのご石の数を数えると四隅のご石を数えないからです。{4つのご石があまるからです。}  
だから、全体のご石の個数は、 $4(x - 2) + 4$  (個) と表せます。

◇学校の授業時間以外に、ふだん (月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。  
当てはまる番号に○をしましょう。(数学だけでなく、全教科の学習時間です。また、学習塾で勉強  
している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 3時間以上           | 2 2時間以上, 3時間より少ない |
| 3 1時間以上, 2時間より少ない | 4 30分以上, 1時間より少ない |
| 5 30分より少ない        | 6 まったくしない         |

# 正答

## 平成 23 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

正答数

問 / 5 問

次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。(答えは、すべて解答欄に書きなさい。)

<カナダから来た女子中学生 Stacy (ステイシー) が青葉中学校で自己紹介をしています。>

Hello, everyone. My name is Stacy. I'm from Canada.

I live in Aoba City with my family now.

I have some pictures of my family. Look. This is my mother. She is cooking in the kitchen. She can cook very well.

This is my brother, Tom. He is ①( help ) her.

This is my father. He works for a company in Aoba.

He likes sports very much. ②( very / basketball / plays / he / well ).

I like tennis very much. I play it every Sunday.

I like music, too. I practice the piano on Friday. It is difficult, but it's very interesting.

I want to learn Japanese. Please teach me Japanese.



[注] Aoba City : 青葉市      kitchen : 台所      work for ~ : ~で働く      company : 会社  
practice : 練習する      difficult : 難しい      interesting : おもしろい  
want to learn : 学びたい      teach me ~ : 私に~を教える

【1】下線部①の ( ) 内の語を、最も適切な形になおして、1語で書きなさい。

【2】下線部②が意味の通る英文になるように、( ) 内の5語を並べかえて書きなさい。  
ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書くこと。

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは ( ) 内に1語ずつ書きなさい。

【3】 Does Stacy live with her family now?

(                    ), (                    ) (                    ).

【4】 When does Stacy play tennis?

(                    ) (                    ) (                    ) (                    ) (                    ).

【5】あなたがよくすること(スポーツや趣味など)と、そのことについての気持ち(おもしろい、難しいなど)を英語2文で書きなさい。

[解答欄]

|     |   |     |                                    |
|-----|---|-----|------------------------------------|
| 【1】 | helping   | 【2】 | ( He plays basketball very well ). |
| 【3】 | ( Yes ), ( she ) ( does ).  |     |                                    |
| 【4】 | ( She ) ( plays ) ( tennis / it ) ( every ) ( Sunday ).                 |     |                                    |
| 【5】 | (正答例) I play baseball every Sunday.<br>-----<br>It is very interesting. |     |                                    |

平成23年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

中学校2学年 P調査問題指導資料  
(解説シート，指導シート)

国語，数学，英語

長野県教育委員会

中学校 2 年国語【一】【二】解説シート

◆ 問題及び正答

森羅ばんしようを網羅する。

【二】 次の一線のついたひらがな  
を   の中に漢字に直  
して書きなさい。

約束を履行する。

【一】 次の一線のついた漢字のよ  
みがなを   の中にひ  
らがなで書きなさい。

<正答> 【一】 りこう  
 <正答> 【二】 万象

◆ 出題の趣旨

【一】【二】 文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりできるかどうかをみる。

◆ 学習指導要領との関連

【一】【二】 第1学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

- (1) ウ(ア) 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち、250字程度から300字程度までの漢字を読むこと。
- (イ) 学年別配当表のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

<【一】 解答類型>

<人 %>

|    |                 |  |  |
|----|-----------------|--|--|
| 1◎ | 「りこう」と解答しているもの  |  |  |
| 2  | 「は(く)こう」と解答している |  |  |
| 3  | 「ふくこう」と解答をしている  |  |  |
| 9  | 上記以外の解答         |  |  |
| 0  | 無解答             |  |  |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<【二】 解答類型>

<人 %>

|    |                           |  |  |
|----|---------------------------|--|--|
| 1◎ | 「万象」と解答しているもの             |  |  |
| 2  | 「万」「象」どちらか一字のみ正しく解答しているもの |  |  |
| 9  | 上記以外の解答                   |  |  |
| 0  | 無解答                       |  |  |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<昨年度の調査における正答率>

|     | 正答率   | 問 題                 |
|-----|-------|---------------------|
| P調査 | 58.2% | 【一】 言葉を介して意思を伝え合う。  |
| C調査 | 64.2% | 【一】 感慨無量だ。          |
| P調査 | 14.1% | 【二】 しこう錯誤して問題を解決する。 |
| C調査 | 63.3% | 【二】 こうじつをつくる。       |

〈 誤答分析 〉

【分析】

【一】について

- ・「は(く)こう」と書いた生徒は何人いましたか。  
→「履」の音読みが分からなかったと考えられます。また、「履行」という熟語の意味を理解できていないことも考えられます。
- ・「ふくこう」と書いた生徒は何人いましたか。  
→漢字の形から判断して読んでいたと考えられます。

【二】について

- ・「万障」などと書き間違えた生徒は何人いましたか。  
→四字熟語の意味を理解していないことが考えられます。

【確認】

- ・中学校の学習では、抽象的な語彙、漢語を中心として書き言葉に使用する言い回しの語彙が増えます。このような語彙を類義語として他の言葉と関連付けたり、使う場を設定したりしていますか。
- ・四字熟語の意味を理解して、漢字の使い分けを考えさせる場を設定していますか。

ここがポイント



**漢字学習** 意味を考えながら使い、文脈に即して漢字を使う学習を

【誤答の分析から取組への見通し】

- ① 中学生の時期は抽象的な語彙や文章表現で使う語彙など、語彙が広がる発達段階です。語彙学習では、意味理解と同時に自分の言葉として使う場面を多くすることで、実の場に生きる語彙の力となります。類義の言葉を関連付けたり、使う場面を設定したりする学習場面を工夫しましょう。
- ② 表意文字としての漢字の特徴に気付かせ、文脈の中で漢字の意味を想像する学習場面を工夫しましょう。

〈 日常の授業改善に向けて 〉

**授業における漢字指導**

◇ 文脈に沿って適切さを考えて漢字を使う学習場面を設定しましょう。

- ① 成り立ちや仕組みを理解しないまま覚えるため、形の似ているものと混同しやすく定着がしにくいので、偏の違う漢字や形の似ている漢字と関連・比較させながら指導しましょう。
- ② 初めて出合う漢字については、成り立ちや意味などを丁寧に扱きましょう。また、教科書本文で使われている音読み或いは訓読みのみ扱うのではなく、学年配当を確かめて、音訓両方に留意して指導しましょう。
- ③ 四字熟語の意味を考えさせたり、使用頻度の低いものを意図的に取り上げたりするなどの指導を工夫しましょう。

**日常生活における漢字指導**

◇ 日常の授業や生活の中で、継続的・反復的な指導を心がけましょう。

- ① 日記や学習ノートから読み書きの誤答傾向を日常的に把握し、生活の中で繰り返し使用していくように機会をとらえて指導しましょう。
- ② 日常的な漢字練習の成果をチェックするテスト等を効果的に位置付けていきましょう。
- ③ 生活に役立つ四字熟語やことわざなどを継続的に指導していきましょう。

## 中学校 2 年国語【三】解説シート

### ◆ 問題

【三】 次の一文は、主語・述語の対応関係が正しくありません。全体の意味は変えずに二つの文に分けての中に書きなさい。なお、二文めは述語「目標です」に対応する主語を補いなさい。

わたしたちは、県大会出場をめざし、毎日の部活動に取り組んでいて、部員全員の大きな目標です。

### 正答例

一文め  
「わたしたちは、県大会出場を目指し、毎日の部活動に取り組んでいます。」

二文め  
「県大会出場は、部員全員の大きな目標です。」  
「それは、部員全員の大きな目標です。」

※正答例と同等の内容であれば正答とする。

### ◆ 出題の趣旨

【三】 二つの内容を含んでいる一文を、二つの文に適切に分けて表現することができるかどうかをみる。

### ◆ 学習指導要領との関連

第1学年 B書くこと エ

書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

### ◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

< 【三】 解答類型 >

|        |  | 人 | % |
|--------|--|---|---|
| 1<br>◎ | 次の条件を満たして解答している。<br>① 意味は変えずに二つの文に適切に分けて書いている。<br>② 「目標です」に対応する主語を補って二文めを適切に書いている。<br>(正答例)<br>一文め ・わたしたちは、県大会出場を目指し、毎日の部活動に取り組んでいます。<br>二文め ・県大会出場は、部員全員の大きな目標です。<br>・それは、部員全員の大きな目標です。 |   |   |
| 2<br>○ | 上記1の解答で、文末に「。」がついていないもの。   |   |   |
| 3      | 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの。  |   |   |
| 4      | 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの。  |   |   |
| 9      | 上記以外の解答  |   |   |
| 0      | 無解答  |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

< 全国学力学習状況調査における正答率 >

|            | 全国正答率 | 長野県正答率 |
|------------|-------|--------|
| 平成 22 年度調査 | 43.3% | 37.8%  |

## 中学校 2 年国語【三】指導シート

### 〈 誤答分析 〉

【分析】解答類型 3・4 の解答には、次のようなことが考えられます。

- ・類型 3 → 文脈の中で適切に主語を補うことができていないと考えられます。
- ・類型 4 → 二つの意味内容を正しくとらえていないと考えられます。

【確認】

- ・文章を推敲する機会を設けていますか。
- ・文章を推敲し、分かりやすく書こうとする習慣は付いていますか。
- ・意味のまとまりを考えて文章を書く習慣は身に付いていますか。

ここがポイント



学習過程に沿って、推敲し合う学習を

【誤答の分析から取組への見通し】

- ① 推敲の学習では、主述や修飾・被修飾など語句同士の関係、また、文や段落相互の関係などについても、整合性を点検させ読みやすく分かりやすい文章を書けるようにしましょう。
- ② 単に文章を修正するだけではなく、なぜ修正するのかという理由を明確に意識した推敲の学習をしましょう。
- ③ 文を修正する例を具体的に示し、推敲に必要な知識や技能を理解させた上で、自分で読み返したり、ペアやグループで読み合ったり、学級全体で検討したりして書く力を高めましょう。
- ④ 選材や構成の段階で目的や相手について意識させたり、記述の段階で表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選ぶよう工夫させたりするなど、書くことの学習過程で随時立ち止まり、見直ししながら書くようにさせることを大切にしていきましょう。
- ⑤ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕第 1 学年(1)イ(エ)単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること 第 2 学年(1)イ(ウ)文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること 等と関連付けた学習をしましょう。

### 〈 日常の授業改善に向けて 〉

#### 1 年「書くこと」の指導

◇ 表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章をつくっていく学習にしましょう。

伝えようとする事実や事柄、意見などが十分に書き表されているかどうかを、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切か、語句の選び方や使い方、文の長さ、文や段落の接続の関係、全体と部分の関係が的確で効果的であるかなどについて検討し合ひましょう。

#### 2 年「書くこと」の指導

◇ 文や文章を整えて、説得力のある文章をつくっていく学習にしましょう。

伝えたい事柄等にふさわしい語句や文の使い方になっているか、段落の設け方、段落相互の関係、論点と論拠の関係などについて検討し合ひましょう。



## 中学校 2 年国語【四】解説シート

### ◆ 問題及び正答

|  |             |
|--|-------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                 いとわろかりしかども、<u>のたまひしに</u>違<br/>                 はましかばと、この花を折りてまうで来た<br/>                 るなり。<br/><br/>                 (「竹取物語」より)             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 【四】 次の文の―線部を現代仮名遣いに直して<br/>                 の中に書きなさい。             </div> | <正答> のたまひしに |
|--|-------------|

### ◆ 出題の趣旨

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

### ◆ 学習指導要領との関連

第 1 学年〔伝統的な言語文化と国語の特質〕(1)ア(ア)

文語のきまりや訓読の仕方を知り、古典や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。

### ◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

< 【四】 解答類型 > ( 人 % )

| 1 | 「のたまひしに」と解答しているもの |  |  |
|---|-------------------|--|--|
| ◎ |                   |  |  |
| 2 | 現代語訳しているもの        |  |  |
| 9 | 上記以外の解答           |  |  |
| 0 | 無解答               |  |  |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

< 昨年度の調査における正答率 >

|      | 正答率   | 問 題                 |
|------|-------|---------------------|
| P 調査 | 50.7% | 【四】 さぬきのみやつことなむいいける |
| C 調査 | 38.0% | 【四】 やうやうしろくなりゆくやまぎは |

## 中学校2年国語【四】指導シート

### 〈 誤答分析 〉

【分析】 正答以外の解答をしている生徒は何人いましたか。

- ・ 類型2 → 現代仮名遣いにすることと現代語訳することの区別ができていないことが考えられます。
- ・ 類型9 → 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことが定着していないことが考えられます。

【確認】

- ・ 古文の音読がたどり読みでなく、文意を考えながら区切れを意識して読んでいますか。
- ・ 歴史的仮名遣い特有の仮名遣いの読み方の決まりを理解していますか。

ここがポイント



音読、朗読を通して、文語文を正しく読む力を

#### 【誤答の分析から取組への見通し】

音読や朗読を通して、古文の特徴である仮名遣いの違いに注意したり、語のまとまりを意識したりしながら、文語文を正しく読む力を身に付けさせていきましょう。その中で、生徒の音読に気を付けて聞き、文語文を正しく音読できているか判断しましょう。

現在の読み方と違う読み方をしている文字はどれかな。

「ひ」は「い」と読むんだな。

暗記するまで読み込んでみよう。

何度も読んでいると覚えてしまう。古典の言葉の響きがおもしろい。

### 〈 日常の授業改善に向けて 〉

#### 1年「古典」の指導

◇ 古典に親しむ態度の育成を目指した授業づくりの工夫をしましょう。

- ① 音読マップ（音読用のテキスト）等を用い、生徒が自分の力で音読し、意味を理解していく楽しさを味わえるようにするなどして、古典特有の歴史的仮名遣いの正しい使い方を理解し、読む力を身に付けるようにしましょう。
- ② 音読の評価規準（例えば「音読検定」）を設定し、生徒と共有しながら音読の練習を進めていくなどして、機械的な暗唱や反復だけではなく、生徒が意欲を高めながら取り組めるような指導を工夫しましょう。

#### 2年「古典」の指導

◇ 古典に表われたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像していけるように指導を工夫しましょう。

- ① 役割読みや群読への取組を通して「語りの文学」としての特徴（和漢混合文の力強さ、リズム感、写実性、叙事性など）に気付く学習の工夫をしましょう。（「扇の的」）
- ② 筆者のもの見方や考え方に触れる学習の工夫をしましょう。「春はあけぼの」の文体に乗せて、自分の好きなもののよさを表現した文章を書いてみるなどしていきましょう。（「枕草子」）

## 中学校2年国語【五】解説シート

### ◆ 問題及び正答例

解答例 A 「学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切に」という部分が、まとめの「チームワークを大切に」に対応し、筋がとおって分かりやすくなるから。(六十八字)

### ◆ 出題の趣旨

取材メモと放送原稿を対応させて読み、空欄にあう資料を選び出したうえで、取材メモ中の言葉とまとめ部分の言葉とを関係付けながら理由として記述する力をみる。

### ◆ 学習指導要領との関連 第1学年

〈話すこと・聞くこと〉 イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。

〈読むこと〉 イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

### ◆ 解答類型及び過去の調査における正答率

〈【五】 解答類型〉

〈人 %〉

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 1◎ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の①～④を満たして解答している。</li> <li>① 「取材メモA」を選択している。</li> <li>② 「取材メモ」と「まとめ」との関係について、「対応している」「つながる」などの言葉をつかってとらえ、表現の仕方や内容に着目した理由が添えられている。</li> <li>③ 条件ア～ウを満たしている。</li> <li>④ 「から」など、理由を表す語を用いて書いている。</li> </ul>   |  |  |
| 2○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・類型1の①, ③, ④を満たしている。</li> <li>・「取材メモ」と「まとめ」の関係付けはできているが、理由が的確でない。</li> </ul> <p>解答例:「学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切にしてきた」という部分を<u>まとめると</u>,「チームワーク」という言葉になるから。</p> <p>解答例:「チームワーク」を<u>具体的に言っている</u>のが,「学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切にしてきた」という部分だから。</p> <p>解答例:「学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切にしてきた」という部分から,「チームワーク」が<u>感じとられる</u>から。</p> |  |  |
| 3  | ・類型1の①を満たしていない(「メモA」以外を選択している)。  |  |  |
| 4  | ・類型1の①を満たしているが,②を満たしていない(「取材メモ」と「まとめ」の関係をとらえていない)。   |  |  |
| 5  | ・類型1の①, ②は満たしているが,③または④を満たしていない。   |  |  |
| 9  | 上記以外の解答  |  |  |
| 0  | 無解答  |  |  |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

〈これまでの調査における正答率〉

平成21年度P調査問題:19.4%      平成21年度C調査問題:21.5%

平成22年度P調査問題:25.6%      平成22年度C調査問題:18.1%

## 中学校2年国語【五】指導シート

### < 誤答分析 >

【分析】解答類型3～5の解答には、次のようなことが考えられます。

- ・類型3→どの部分が「チームワーク」に結びつく部分なのかを考えて読み、ふさわしい材料を選び出せないことが考えられます。
- ・類型4→キーワードに着目して部分と関係付けて読むことができないことが考えられます。
- ・類型5→条件等に合わせて、的確な表現できないことが考えられます。

【確認】

- ・根拠となる事実と関係付けて考える学習が、日々の学習の中で行われていますか。
- ・根拠となる事実の関係から、理由付けて考えを述べる場面が授業の中に位置付けられていますか。
- ・目的に応じて材料を選ぶなどの学習場面が位置付けられていますか。

### ここがポイント



自分の考えをまとめ、交流し合う学習を

#### 【誤答分析から取組への見通し】

◇表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめ、交流する学習場面を設定しましょう。

※【五】の問題を授業で扱う場合

どの段落や部分から自分がそう考えたのか明確にして、グループ討議をしよう。

「学年を超えた連帯や気持ちの高め合いを大切にしてきた」ということは、「チームワーク」を高めてきたことと同じことだから、この2つはつながると思う。

筆者は、こう表現することで、どんな効果をねらっているかについて、自分の考えを書こう。

取材メモBとAを取り上げた上で、それをキーワードでまとめているのが「まとめ」の段落だと思う。詳しい内容のあとに、それをキーワードで繰り返すことで、伝えたいことがよりはっきりすると思う。

### < 日常の授業改善に向けて >

#### 第1学年「話すこと・聞くこと」に関する指導

◇ 話材を選んだり、それを組み立てたりする学習場面を設定しましょう。

- ① 話の全体として伝えたいことを明確にし、それを分かりやすく伝えるために各部分をどのように組み立てるかを考える学習を行きましょう。
- ② 自分の伝えたい意見を述べるのに、どのような事実を根拠として取り上げるかなどを考えて話を構成する学習を行きましょう。
- ③ 事実と意見との関係を明らかにしている文章表現などにも目を向ける学習を行きましょう。

#### 第1学年「読むこと」の指導

◇ 様々な文章を読んで、表現の特徴をとらえる学習場面を設定しましょう。

- ① いくつかの文章を比較するなどして、それぞれの文章の構成や展開、表現の特徴をつかむ学習を行きましょう。
- ② それを踏まえて、表現の仕方について、その工夫や効果について自分の考えを書き、まとめる学習を行きましょう。

## 中学校2年数学【1】解説シート

### ◆問題及び正答

【1】  $25 - 5 \times (-4)$  を計算しなさい。

正答 45

### ◆出題の趣旨

正の数と負の数の四則計算ができるかどうかをみるものである。ここでは、数を負の数にまで拡張した場合も、乗除先行に基づき、符号に気を付けて適切に計算することが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。

ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| 1◎ | 45 と解答しているもの         | 人 | % |
|----|----------------------|---|---|
| 2  | 5 と解答しているもの          |   |   |
| 3  | -80 または 80 と解答しているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答              |   |   |
| 0  | 無解答                  |   |   |

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

|            | 問題                    | 正答率   |
|------------|-----------------------|-------|
| 22年度 (C調査) | $12 - 5 \times (-4)$  | 76.8% |
| 22年度 (P調査) | $9 - 3 \times (-2)$   | 73.7% |
| 21年度 (C調査) | $18 - 12 \times (-3)$ | 74.7% |
| 21年度 (P調査) | $12 - 6 \times (-2)$  | 72.9% |

<類題>

平成19年度全国学力・学習状況調査

$8 - 5 \times (-6)$

正答率 77.1% (全国)

81.0% (長野県)

## 中学校2年数学【1】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

【分析】「 $25 - 5 \times (-4) = 5$ 」と答えている生徒は何人いましたか。

→ 「負の数を引く」計算の仕方が十分身に付いていないことが考えられます。

「 $25 - 5 \times (-4) = -80$  または  $80$ 」と答えている生徒は何人いましたか。

→ 「乗除先行」の計算の仕方が十分身に付いていないことが考えられます。

【確認】数を負の数にまで拡張した場合も、符号に気を付けて計算ができますか。

加減乗除を含む式の計算ができますか。

「 $25 - 5 \times (-4) = 5$ 」や「 $25 - 5 \times (-4) = -80$  または  $80$ 」の誤答を生かして、正の数・負の数を含む計算の理解を深める場面を仕組みましょう。

「 $25 - 5 \times (-4) = 5$ 」の計算はどこが間違っているのだろうか。

「 $25 - 5 \times (-4) = 25 - (-20) = 5$ 」と計算し、負の数の引き算の計算を間違えた。暗算で  $5 \times (-4) = -20$  としたが、 $25 - 20$  とした。

「 $25 - 5 \times (-4) = -80$ 」の計算はどこが間違っているのだろうか。

「 $25 - 5 \times (-4) = 20 \times (-4) = -80$ 」と計算した。計算の順序が間違っている。

加減乗除を含む式の計算をするときに気を付けることをまとめよう。

計算の順序や符号に気を付けて計算しよう。  
途中の式を丁寧に書いて計算しよう。

ここがポイント

1年「正の数・負の数」の指導



乗除先行の計算の順序を理解できるようにしましょう。

◇数を正の数と負の数にまで拡張した場面で、計算の意味、計算の仕方や手順など、これまでの学習内容を振り返ったり、誤りのある計算例を取り上げて計算方法を確認したりして、計算の順序を理解し、確実に計算できるように指導をしましょう。

計算の順序にはどんなきまりがあったかな。

加減と乗除が混じった式は、乗除を先に計算する。  
かっこのある式では、かっこの中を先に計算する。

$8 - 5 \times (-6) = 3 \times (-6) = -18$  は、どこがまちがっているのだろう。

かけ算を先にせず左から計算してしまっている。

1年「文字の式」の指導

ここがポイント

2年「式の計算」の指導



文字式の意味をよみとる活動を取り入れましょう。

◇単に計算するだけでなく、計算過程を振り返り、文字式の計算がどのようなきまりを基になされているかを考えたり、文字式の意味をよみとる活動を取り入れたりする指導を工夫しましょう。

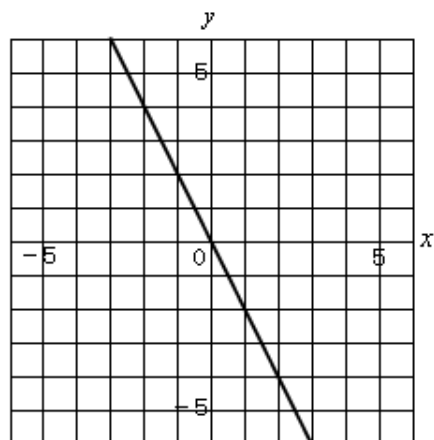
- ①1年の「正の数・負の数」の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。
- ②式の値を求める場面で、誤りのある計算例を取り上げて計算方法を確認したり、計算過程を振り返り、どんなきまりを基に計算されているかを説明したりする学習を仕組みましょう。
- ③数量の関係を文字式で表現したり、表現された文字式の意味をよみとる活動を取り入れたりして、文字式の計算がどんなきまりを基になされているかを理解できるようにしましょう。

## 中学校2年数学【2】解説シート

### ◆問題及び正答

【2】 比例の関係  $y = -2x$  のグラフをかきなさい。

正答 右のグラフのとおり



### ◆出題の趣旨

式を基に、比例の関係をグラフに表すことができるかどうかをみるものである。ここでは、式を満たす  $x$ 、 $y$  の組が座標に対応すること、比例のグラフの特徴や比例定数の違いによるグラフの形の違いを理解していることが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| 1◎ | $y = -2x$ のグラフをかいているもの<br>(フリーハンドも可) | 人 | % |
|----|--------------------------------------|---|---|
| 2  | $y = 2x$ のグラフをかいているもの                |   |   |
| 3  | $y = -\frac{1}{2}x$ のグラフをかいているもの     |   |   |
| 4  | $y = \frac{1}{2}x$ のグラフをかいているもの      |   |   |
| 9  | 上記以外の解答                              |   |   |
| 0  | 無解答                                  |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率> ( $y = -2x$  のグラフをかく)

|            | 正答率   |
|------------|-------|
| 22年度 (P調査) | 54.6% |
| 21年度 (P調査) | 58.9% |
| 20年度 (県学力) | 60.1% |
| 17年度 (県学力) | 48.8% |
| 16年度 (県学力) | 51.1% |

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



( $y = -\frac{1}{2}x$  のグラフをかく)

|            | 正答率   |
|------------|-------|
| 22年度 (C調査) | 71.6% |
| 21年度 (C調査) | 73.5% |

# 中学校2年数学【2】指導シート

ここがポイント

## 補充・補完指導

誤答を活用しましょう。

〈分析〉  $y = 2x$ ,  $y = -\frac{1}{2}x$ ,  $y = \frac{1}{2}x$  のグラフをかいている生徒は何人いましたか。

→20年度県学力実態調査では、比例定数の誤りが約20%見られました。

〈確認〉 式に当てはまる  $x, y$  の値の組を見つけることができますか。

$x, y$  の値の組を座標とする点をとることができますか。

◇比例定数とグラフの形の組合せを考える活動を通して、比例のグラフの特徴を確認しましょう。

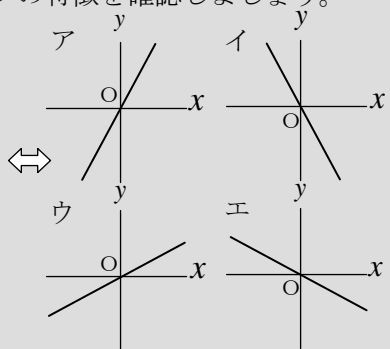
式のどこに着目すれば、グラフの形がわかるか説明しよう。

表をつくって  
比例定数の符号、絶対値に着目して

いくつかの点をとれば、グラフがかけられるかな。

原点ともう1つの点を取り、これらを通る直線をひけばよい。

- ①  $y = 2x$
- ②  $y = \frac{1}{2}x$
- ③  $y = -2x$
- ④  $y = -\frac{1}{2}x$



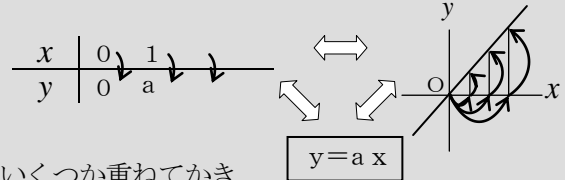
## 1年「比例と反比例」の指導

ここがポイント

比例定数に着目してグラフの特徴を見つけよう。

◇表、式、グラフを相互に関連付けて、多様な方法で比例定数を求めたり確かめたりしましょう。

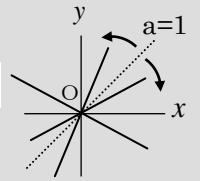
表の縦(対応)の見方から  
グラフから具体的な座標をよみとって  
表やグラフから  $x, y$  の増加量の割合を求めて



◇比例定数  $a = 1$  を基準として、 $a$  の値の異なるグラフをいくつか重ねてかき、 $a$  の値の違いによるグラフの共通点や相違点を考察する学習を仕組みましょう。

どのグラフにも共通していることはなんだろう。 → どれも原点を通る直線になる。

原点を通る直線の位置を変えたとき、 $a$  の値の変化を調べよう。



ここがポイント

## 2年「一次関数」の指導

「変化の割合」の意味の確実な理解を図りましょう。

◇3年間の関数の学習を見通して、新しい関数を学習するたびに、比例定数に着目して既習の関数と対比し、表、式、グラフを関連付けて特徴をまとめる学び直しの機会を設けましょう。

例えば、変化の割合について指導する際に、1年で扱った「反比例」を取り上げ、そのグラフが直線にならない理由について説明することを通して、「変化の割合が一定⇔グラフが直線」であることを、より深く理解できるようにしましょう。

2年「一次関数」 変化の割合の指導

1年「反比例」  
変化の様子やグラフの形状  
変化の割合が一定でない関数の存在

比例や一次関数のグラフは直線になるが、反比例のグラフは直線にならない理由を説明しよう。



## 中学校2年数学【3】解説シート

### ◆問題及び正答

【3】 一次方程式  $3x = x + 4$  の解を求めるために、左辺  $3x$  と右辺の  $x + 4$  の  $x$  に、 $-2$  から  $4$  までの整数をそれぞれ代入して、左辺と右辺の値を調べました。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

|              | 左辺 $3x$ の値 | 右辺 $x + 4$ の値 |
|--------------|------------|---------------|
| $x = -2$ のとき | -6         | 2             |
| $x = -1$ のとき | -3         | 3             |
| $x = 0$ のとき  | 0          | 4             |
| $x = 1$ のとき  | 3          | 5             |
| $x = 2$ のとき  | 6          | 6             |
| $x = 3$ のとき  | 9          | 7             |
| $x = 4$ のとき  | 12         | 8             |

- ア  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに6になるので、6はこの方程式の解である。  
 イ  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに6になるので、2はこの方程式の解である。  
 ウ  $x = 2$  のとき、左辺と右辺の値はともに6になるので、2と6はこの方程式の解である。  
 エ  $-2$  から  $4$  までの整数の中には、この方程式の解はない。

正答 イ

### ◆出題の趣旨

一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ア 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| 1  | アと解答しているもの | 人 | % |
|----|------------|---|---|
| 2◎ | イと解答しているもの |   |   |
| 3  | ウと解答しているもの |   |   |
| 4  | エと解答しているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答    |   |   |
| 0  | 無解答        |   |   |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

<類題> 平成22年度全国学力・学習状況調査

一次方程式  $2x = x + 3$  の解を求めるために、左辺  $2x$  と右辺  $x + 3$  の  $x$  に、 $-2$  から  $4$  までの整数をそれぞれ代入して、左辺と右辺の値を調べました。この方程式の解について、下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア  $x = 3$  のとき、左辺と右辺の値はともに6になるので、6はこの方程式の解である。  
 イ  $x = 3$  のとき、左辺と右辺の値はともに6になるので、2はこの方程式の解である。  
 ウ  $x = 3$  のとき、左辺と右辺の値はともに6になるので、2と6はこの方程式の解である。  
 エ  $x = 0$  のとき、右辺の値が3になるので、3はこの方程式の解である。  
 オ  $-2$  から  $4$  までの整数の中には、この方程式の解はない。

|              | 左辺 $2x$ の値 | 右辺 $x + 3$ の値 |
|--------------|------------|---------------|
| $x = -2$ のとき | -4         | 1             |
| $x = -1$ のとき | -2         | 2             |
| $x = 0$ のとき  | 0          | 3             |
| $x = 1$ のとき  | 2          | 4             |
| $x = 2$ のとき  | 4          | 5             |
| $x = 3$ のとき  | 6          | 6             |
| $x = 4$ のとき  | 8          | 7             |

正答率 55.2% (全国)

51.1% (長野県)

# 中学校2年数学【3】指導シート

## ここがポイント

### 補充・補完指導



変数を含んだ相当関係を満たす値が方程式の解であることを理解できるようにしましょう。

〈分析〉解答類型の1, 3, 4を選択した生徒は何人いましたか。

→平成22年度全国学力・学習状況調査では36.9%の生徒が同様の間違いをしていました。

〈確認〉一元一次方程式の解が、方程式の左辺と右辺の値を等しくする $x$ の値であることを理解していますか。

◇方程式を解いて得られた値が正しいか判断する場面を設け、方程式の解の意味や解き方の手続きの意味を再確認しましょう。

$3x = x + 4$ の解が $x = 2$ であるかどうかを確かめよう。

①や②のように追究した人は、どのようにして $x = 2$ が解であることを判断したのでしょうか。

方程式の解かどうかを判断する方法をまとめましょう。

①

$$\begin{aligned} 3x &= x + 4 \\ 3x - x &= x + 4 - x \\ 2x &= 4 \\ 2x \div 2 &= 4 \div 2 \\ x &= 2 \end{aligned}$$

①は途中の式を確認し、手続きが正しいか確かめた。

②

|              | 左辺 $3x$ の値 | 右辺 $x+4$ の値 |
|--------------|------------|-------------|
| $x = -2$ のとき | -6         | 2           |
| $x = -1$ のとき | -3         | 3           |
| $x = 0$ のとき  | 0          | 4           |
| $x = 1$ のとき  | 3          | 5           |
| $x = 2$ のとき  | 6          | 6           |
| $x = 3$ のとき  | 9          | 7           |
| $x = 4$ のとき  | 12         | 8           |

②は方程式の $x$ に数値を代入し、 $x = 2$ のとき左辺と右辺が等しくなったから $x = 2$ が解だと判断した。

- ・等式の性質や移項を正しく用いているか、途中の式を確認する。
- ・未知数に数値を代入して左辺と右辺が等しくなるかを確認する。

## 1年「方程式」

## 2年「連立方程式」の指導

## ここがポイント



形式的な処理の習熟だけでなく、方程式やその解の意味、解く手続きの意味について、様々な場面で理解を深めましょう。

◇方程式を解いた後、求めた解が正しいかどうか判断する場面を設けましょう。

$(x, y) = (5, -1)$  は  $\begin{cases} 3x + 2y = 9 \\ x + y = 4 \end{cases}$  の解ですか。

正しく解を求めるために、気をつけることを挙げよう。

$x + y = 4$  に  $(x, y) = (5, -1)$  を代入すると等号が成り立つが、 $3x + 2y = 4$  に代入すると等号は成り立たない。一方の方程式を満たすだけでは解とはいえない。

$$\begin{aligned} \begin{cases} 3x + 2y = 9 \\ x + y = 4 \end{cases} \\ 3x + 2y = 9 \\ -) 2x + 2y = 4 \\ \hline x = 5 \\ 5 + y = 4 \\ y = 4 - 5 \\ y = -1 \end{aligned}$$

式変形が間違いだ。  $2x + 2y = 8$  にするはずが、両辺を等倍していないので  $2x + 2y = 4$  になっている。

- ・式変形や操作の意図が途中の式に適切に表わされているか確かめる。
- ・計算で得た数値を方程式に代入し、等号が成り立つか確かめよう。

◇数値を方程式に代入して試行錯誤しながら解を探し、解の意味を学び直す場を設けましょう。

$3x + 2y = 9$  の解を探そう。

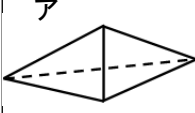
- ・  $3x + 2y = 9$  を  $x$  や  $y$  について解いても、 $x$  や  $y$  の数値は分からない。
- ・数値を代入して、等号が成り立つかどうか確かめながら、解を探そう。
- ・1つの $x$ の値に対して $y$ の値が1つ決まる。その組み合わせはいくつもある。順序良く並べて表に表すと規則性が見えてくるぞ。

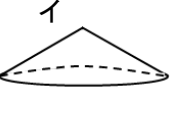
|     |     |    |   |   |    |     |
|-----|-----|----|---|---|----|-----|
| $x$ | ... | -1 | 1 | 3 | 5  | ... |
| $y$ | ... | 6  | 3 | 0 | -3 | ... |

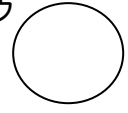
# 中学校2年数学【4】解説シート

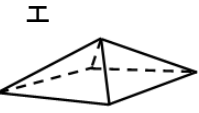
## ◆問題及び正答

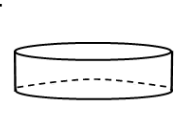
【4】下の図のような直角三角形ABCを、直線ABを軸として1回転させて立体をつくります。できる立体の見取図を下のア～オから選び、体積を求めなさい。ただし、円周率は $\pi$ とします。

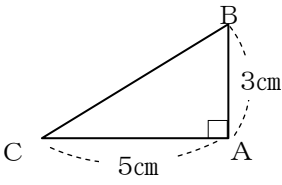
ア  


イ  


ウ  


エ  


オ  




正答 見取図 **イ** 体積  **$25\pi \text{ cm}^3$**

## ◆出題の趣旨

直角三角形の一边を軸とする回転によって円錐が構成されることを理解しているかどうかをみる。さらに、見取図を基に底辺と高さを見だし、立体の構成を想起して体積を計算できるかをみる。

## ◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

- (2) 観察，操作や実験などの活動を通して，空間図形についての理解を深めるとともに，図形の計量についての能力を伸ばす。
- イ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているものととらえたり，空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。
- ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体，錐体及び球の表面積と体積を求めること。

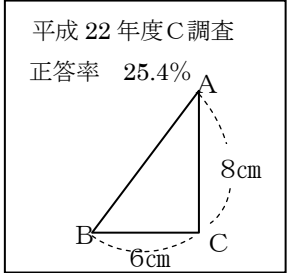
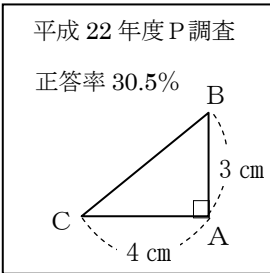
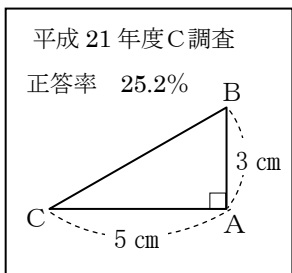
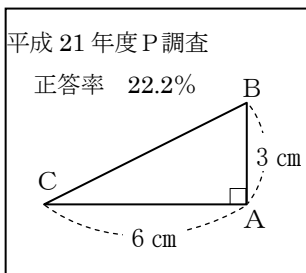
## ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| 1◎ |                              | 25 $\pi$ と解答しているもの                   | 人 | % |
|----|------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 2  | 見取図としてイを選択しているもの             | 25と解答しているもの                          |   |   |
| 3  |                              | 10 $\pi$ または10と解答しているもの              |   |   |
| 4  |                              | 75 $\pi$ ，75または30 $\pi$ ，30と解答しているもの |   |   |
| 5  |                              | 25 $\pi$ と解答しているもの                   |   |   |
| 6  | イ以外の見取図を選択しているか，どれも選択していないもの | 25と解答しているもの                          |   |   |
| 7  |                              | 10 $\pi$ または10と解答しているもの              |   |   |
| 8  |                              | 75 $\pi$ ，75または30 $\pi$ ，30と解答しているもの |   |   |
| 9  |                              | 上記以外の解答                              |   |   |
| 0  | 無解答                          |                                      |   |   |

◎ 解答として求める条件をすべて満たしている正答      ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

<過去の調査における正答率>



## 中学校2年数学【4】指導シート

ここがポイント

### 補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

【分析】「体積が正しく求められていない」生徒は何人いましたか。

→ 21年度P調査やC調査では、約 $\frac{3}{4}$ の生徒が体積を正しく求められていません。

【確認】回転させたときに錐体になることは理解できていますか。

柱体の体積の求め方や、柱体と錐体の体積の関係は理解できていますか。

◇「体積を正しく求められていない」誤答を生かして、体積の理解を深める場面を仕組みましょう。

ABを軸として1回転するとどんな立体になるか、見取図をかいてみよう。

ABを軸として回転するから、底面の半径AC、高さABの円錐だ。

円錐の体積はどうやって求めればよかったのだろうか。

柱体は合同な図形を高さ分積み重ねた立体と見える。底面積を高さ分積み重ねるのが体積のイメージだ。水を円錐から円柱に移したら3杯入ったぞ。底面と高さが等しい円錐と円柱の体積比は1:3だ。

体積を求めるときに、気を付けたり工夫したりすることをまとめよう。

できあがる立体をイメージして底面積を求めよう。錐体と柱体の体積の関係を正しく理解しよう。

ここがポイント

### 1年「空間図形」の指導



実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにする。

◇空間図形の学習では、実験や実測を通して、実感を伴って理解できるようにすることが大切です。

そのために、例えば、水を円錐から円柱に移すとき、予想を立て、実験や実測を通して確かめる活動や、実測から円錐の体積の求め方を説明する活動を取り入れるような指導を工夫しましょう。

円柱の容器には、円錐の容器の何杯分の水が入りそうかな。

はじめは2杯入ると予想していたが、ちょうど3杯入った。見た目では判断してはいけない。

実測結果から円錐の体積の求め方を、円柱の体積の求め方を基に説明しよう。

ここがポイント

### 2年「式の計算」の指導



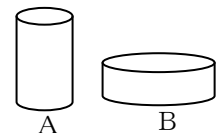
立体の体積を、文字を使って表し対比する学習をしましょう。

◇底面の半径と高さが違う立体の体積を文字を使って表し対比することで、体積の求め方について学び直しができる場面を意図した授業をしましょう。

①立体の体積の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。

②「底面の半径が $r$ 、高さが $h$ の円柱Aと、円柱Aの底面の半径を2倍にし、高さを半分にした円柱Bでは体積の関係はどうなるか」を考える場面で、予想を立て、具体的な数値を用いて体積を求めたり、文字を使って体積が等しくならない理由を説明したりしながら、半径と高さをどのように用いて体積を求めているのか振り返って考える活動を取り入れましょう。

③上記の問題の「円柱」を「円錐」に変え、同様に考察し、説明する活動を「底面の半径を2倍位置付けることで、さらに理解を深めましょう。」

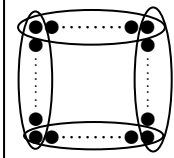
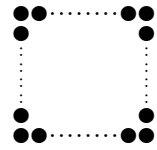


底面の半径を2倍にし、高さを半分にしたのに、体積が等しくならない根拠は何かな。

## 中学校2年数学【5】解説シート

### ◆問題及び正答

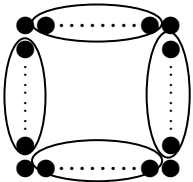
【5】右の図のように1辺に同じ個数のご石を並べて、正方形の形をつくります。山本さんは、1辺に並べるとご石の個数を  $x$  個として、全体のご石の個数を  $4x - 4$  (個) と  $4(x - 2) + 4$  (個) の2つの式で表しました。そして、 $4x - 4$  (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、下の



【説明】  $4x$  の  $x$  は、左の図の ○ のことです。それが4つあるので4倍します。  
4を引くのは、○でのご石の数を数えると四隅のご石を2回数えてしまうからです。だから全体のご石の個数は  $4x - 4$  (個) と表せます。

$4(x - 2) + 4$  (個) について、どのようにご石を囲んで考えたのかを、上の説明を参考にして説明しなさい。

### 正答例



$4(x - 2)$  の  $x - 2$  は、左の図の ○ のことです。{一辺から両端のご石を除いた個数です。}それが4つあるので4倍します。  
4を加えるのは、○でのご石の数を数えると四隅のご石を数えないからです。{4つのご石があまるからです。}  
だから、全体のご石の個数は、 $4(x - 2) + 4$  (個) と表せます。

- ・矢印などで説明を補っているものも可とする。
- ・{ } のような内容でも可とする。

### ◆出題の趣旨

与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができるかどうかをみる。ここでは、式に対応するまとまりを図の中に見いだすことができるかどうかをみる。

### ◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。


### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> (①, ②, ③, ④は、右の正答の条件による)

| 1◎ | ①, ②, ③, ④を満たしているもの     | 人 | % |
|----|-------------------------|---|---|
| 2○ | ①または②と, ③, ④を満たしているもの   |   |   |
| 3○ | 上記1, 2の解答で, ④を満たしていないもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答                 |   |   |
| 0  | 無解答                     |   |   |

(正答の条件)  
次の①, ②, ③, ④と同等の内容を記述している。  
①: 図を囲んで  $x - 2$  の意味を説明している。  
②: (図を囲んで)  $4(x - 2)$  が  $(x - 2)$  の4倍であることを説明している。  
③:  $+4$  の意味を説明している。  
④: 結論「だから～」を記述している。

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)  
<過去の調査における正答率>

|            | 正答率   | 備考   |
|------------|-------|--|
| H22 年度C 調査 | 25.4% | 各問に使用した素材<br> P 調査<br>$\cdot 4(x - 2) + 4$ (H21)<br>$\cdot 4x - 4$ (H22)<br> H21 C 調査<br>$\cdot 3(x - 1)$<br> H22 C 調査<br>$\cdot 5(x - 2) + 5$ |
| H22 年度P 調査 | 47.0% |  |
| H21 年度C 調査 | 25.2% |  |
| H21 年度P 調査 | 26.3% |  |

## 中学校2年数学【5】指導シート

### ここがポイント

#### 補充・補完指導



無解答の生徒の理解の状況を丁寧に把握しましょう。

〈分析〉無解答の生徒は何人いましたか。

→20年度の県学力実態調査では、記述式の問題の無解答率は15%程度となっています。

〈確認〉文字式を書くときの約束を理解していますか。

「 $x - 2$ 」が、図の一边からご石を2つ取った部分の個数を表わす式であることを説明できますか。

◇ご石の数が  $4x - 4$  (個) でよいかどうかを図と式などを用いて確かめるよう促し、互いが表した図や式をもとに、ご石の数をどのように数えたのか、図や式を読んで説明し合う場面を設けましょう。

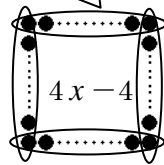
ご石の個数の数え方をいろいろ考えて式に表そう。

$$4x - 4 \qquad 4(x - 2) + 4 \qquad 4(x - 1)$$

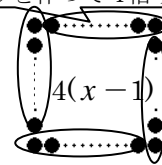
$$2x + 2(x - 2) \qquad x^2 - (x - 2)^2$$

友だちの式を見て、どのように考えたのか説明し合おう。

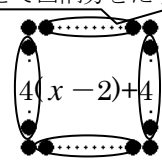
$x$  個が4つ。四隅の重なり分を引く。



重なりを作らないように  $x - 1$  のまとまりを作って4倍する。



四隅を除いて  $x - 2$  のまとまりを4倍し、あとで四隅分をたす。



### ここがポイント

#### 1年「文字を用いた式」の指導



文字と数の行き来を繰り返しましょう。

◇文字式を理解したり用いたりすることは、数学学習の基盤ですが、生徒にとって教師が考える以上に高いハードルであることを前提に、丁寧に指導しましょう。導入段階での指導にあたっては、具体(数)と抽象(文字)の行き来を繰り返すことで、文字のもつ意味、特に変数の意味を理解できるようにすることが大切です。

その際、数と文字をすぐにつなぐのではなく、言葉の式に表したり、○や□などの記号に表したりしながら、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、漸次理解できるようにしましょう。

$$1 = 2 \times 0 + 1$$

$$3 = 2 \times 1 + 1$$

$$5 = 2 \times 2 + 1$$

$$\vdots$$

$$(\text{奇数}) = 2 \times n + 1$$

変わらない部分  
はどこだろう。

$2 \times (\text{整数}) + 1$   
 $2 \times \square + 1$

#### 2年「文字を用いた式」の指導

### ここがポイント



文字を用いた式でとらえ説明する活動を充実しましょう。

◇ある命題が成り立つことを、文字を用いた式で説明する場面で、文字を用いて表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったり、目的に応じて式を変形したりする学習を行いましょ。

①文字を用いた式で表す

②目的に応じて変形する

③式の意味を読み取る

④結論付ける

例) 「2つの奇数の和は偶数である」ことの説明

- ① 2つの奇数を、整数を表す文字  $m$ ,  $n$  を使って、 $2m + 1$ ,  $2n + 1$  と表す。
- ② 2つの奇数の和  $(2m + 1) + (2n + 1)$  を計算し、その結果  $2m + 2n + 2$  を、 $2(m + n + 1)$  の形に変形する。
- ③ ②で得られた式を  $2 \times (\text{整数})$  とみて、偶数を表していることを読み取る。
- ④ ③のことから、2つの奇数の和が偶数になることが分かる。

## 中学校2年英語【1】解説シート

### ◆問題

He is ①(help) her.

【1】 下線部①の（ ）内の語を、最も適切な形になおして、1語で書きなさい。

正答 helping

### ◆出題の趣旨

現在進行形が理解できているかを見るものである。ここでは、前文の内容と直前の be 動詞の is から判断して一般動詞（現在）の語尾に ing をつけることが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型>

| 1◎ | helping と解答しているもの | 人 | % |
|----|-------------------|---|---|
| 2  | help と解答しているもの    |   |   |
| 3  | helps と解答しているもの   |   |   |
| 4  | helped と解答しているもの  |   |   |
| 9  | 上記以外の解答           |   |   |
| 0  | 無回答               |   |   |

調査結果を記入し、  
気付いたことをメモ  
しておきましょう。



◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

<過去の調査における正答率>

|            | 正答率   | 問 題  |
|------------|-------|--|
| 21 年度 P 問題 | 76.9% | She ( <u>like</u> ) cooking very much.                               |
| 21 年度 C 問題 | 13.1% | Now Ken and Taro ( <u>go</u> ) to different high schools.            |
| 22 年度 P 調査 | 81.6% | She ( <u>like</u> ) Japan.   |
| 22 年度 C 調査 | 40.9% | He ( <u>want</u> ) to be a professional soccer player in the future. |

## 中学校 2 年英語【1】指導シート

### 補充・補完指導



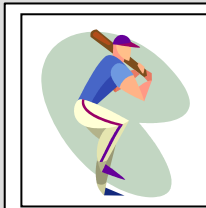
口頭練習を十分に行いましょう。

【分析】「He is helps ～」と答えている生徒は何人いましたか。

【確認】[be 動詞＋一般動詞の ing] の言語材料が定着していますか。

文の内容を理解して、現在進行形にすればよいことが理解できていますか。

◇絵や写真などを示し、現在行われていることを言う表現（現在進行形）を、口頭練習を十分に行うことで理解・定着させましょう。



I  
You  
Ken  
Ken and I  
My brother 等

I am playing baseball.  
You are playing baseball.  
Ken is playing baseball.  
Ken and I are playing かな。  
My brother is playing かな。

練習をして、気付いたり分かったりしたことをまとめよう。

主語と be 動詞の関係や、過去進行形の形もしっかり押さえない。

### 1 年「3 人称・単数・現在形」の指導



書くことで確認をさせましょう。

◇口頭練習や音声によるコミュニケーションを図る活動を行った後、主語と動詞に着目して書かせることで定着を図りましょう。

友だちについて分かったことを英語で書きましょう。

My friend, Kohei likes soccer.  
He play it every day.

主語（～は、～が）と動詞（～する）の関係は大丈夫かな。

He は、3 人称・単数だから -s をつける。  
He plays it every day. になる。

### 2 年「過去形」の指導



現在形と過去形の用法の違いに気付かせましょう。

◇過去形を指導する際には、習慣を表す現在形と比較しながら、日記文等を書くことを通して、現在形と過去形の用法の違いを理解させましょう。

- ① 1 年の文法事項（主として現在形の肯定文・否定文・疑問文）を、学習カードや掲示物、1 年の教科書などで提示し、学び直しができるようにしましょう。
- ② 現在形を用いて「普段の生活」について書く活動をした後、過去形を用いて「昨日の生活」について書く活動をするなどして、それぞれの用法のよさに気付かせましょう。
- ③ 書く活動を行う際には、互いに書いたものを読み合う場面を位置付け、「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に見返すように助言しましょう。



## 中学校2年英語【2】解説シート

### ◆問題

②( very / basketball / plays / he / well ).

【2】 下線部②が意味の通る英文になるように、( ) 内の5語を並べかえて書きなさい。  
ただし、文の始めにくる語は、最初の文字を大文字になおして書くこと。

正答 ( He plays basketball very well ) .

### ◆出題の趣旨

[主語+動詞+目的語] の語順の定着をみるものである。ここでは、[主語+動詞+目的語+副詞句] という語順に並べかえることが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

#### 2 内容

#### (1) 言語活動

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

| 1◎ | He plays basketball very well. と解答しているもの | 人 | % |
|----|--|---|---|
| 2  | He plays very well basketball. と解答しているもの |   |   |
| 3  | He basketball very well plays. と解答しているもの |   |   |
| 4  | 語順は正しいが、単語の綴りを間違えているもの                   |   |   |
| 9  | 上記以外の解答                                  |   |   |
| 0  | 無回答                                      |   |   |

<過去の調査における正答率>

|         | 正答率   | 問 題   |
|---------|-------|---|
| 21年度P問題 | 69.6% | ( can / well / piano / she / the / very / play ).         |
| 21年度C問題 | 62.5% | ( Nagano / going / am / to / next Friday / I / visit ).   |
| 22年度P調査 | 64.7% | ( can / well / she / Japanese / very / speak ).           |
| 22年度C調査 | 57.3% | ( Japanese / well / Mike's father / speak / can / very ). |

## 中学校2年英語【2】指導シート

### 補充・補完指導

ここがポイント



【主語＋動詞】に着目させましょう。

【分析】解答類型2, 3の生徒は何人いましたか。

【確認】【主語＋動詞（＋目的語）】の語順が定着していますか。

副詞句が最後に置かれることは理解していますか。

◇「主語」と「動詞」を見つけさせ、語順を意識付けましょう。

主語になりそうな語はどれかな。

she かな。

動詞になりそうな語はどれかな。

plays かな。basketball かな。

very と well はどう並べたかな。

very well だ。

### 1年【主語＋動詞】の語順の指導

ここがポイント



英語と日本語との違いを意識させましょう。

◇英語における【主語＋動詞】の語順の指導を折にふれて行い、英語と日本語を比べながら違いを意識できるようにしましょう。

この日本語を英文にしてみよう。(板書)

英語は、主語＋動詞の順に並べるのだから...

主語と動詞を見つけよう。

「～は」が主語だから「健は」が主語。  
「～する」が動詞だから「勉強する」が動詞。

書いた文の主語に\_\_\_\_, 動詞に\_\_\_\_\_をつけて語順を確認しよう。

健は毎日英語を勉強します。  
Ken studies English every day.

### 2年【主語＋動詞】の語順の指導

ここがポイント



語数の多い文に慣れさせましょう。

◇単純な文(3, 4語の文)から語数の多い複雑なもの(5語以上の文)へと学習の幅を広げていく練習を行いましょ。

- ①1年の文法事項(主として現在形, 現在進行形, can～)を, 日本語との違いから確認できる学習カードなどを整えましょう。
- ②単純な文【主語＋動詞＋目的語】から, 複雑な文【主語＋動詞＋目的語】＋【場所・時】へと繰り返し練習を行いましょ。
- ③口頭で確実に言えるようになるまで十分練習させましょ。
- ④1時間の終末に, その時間に学んだ表現を用いて, 5語以上の文を書く活動を行いましょ。その際, 「主語と動詞の関係」や「時制」を観点に自己評価できるように指導しましょ。

## 中学校 2 年英語【3】解説シート

### ◆問題

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは（ ）内に1語ずつ書きなさい。

【3】 Does Stacy live with her family now?

( ) , ( ) ( ) .

正答 ( Yes ) , ( she ) ( does ) .

### ◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の I live in Aoba City with my family now. に着目すること、Stacy を代名詞の she にかえること、一般動詞の Does が文頭にきているため文尾が does になることが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

#### 2 内容

##### (1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

##### (3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞( can, do, may など)で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

| 1◎ | Yes she does と解答しているもの           | 人 | % |
|----|----------------------------------|---|---|
| 2  | Yes～と解答しているが、主語が she でないもの       |   |   |
| 3  | Yes she ～と解答しているが、最後が does でないもの |   |   |
| 4  | No ～と解答しているもの                    |   |   |
| 9  | 上記以外の解答                          |   |   |
| 0  | 無解答                              |   |   |

<過去の調査における正答率>

| 過去の類題       | 正答率   | 過去の類題     | 正答率   |
|-------------|-------|-----------|-------|
| 20年度県学力実態調査 | 47.8% | 22年度 P 問題 | 51.0% |
| 21年度 P 問題   | 55.7% | 22年度 C 問題 | 63.4% |
| 21年度 C 問題   | 53.2% |           |       |

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



## 中学校2年英語【3】指導シート

### 補充・補完指導

ここがポイント



誤答を活用しましょう。

【分析】解答類型2の生徒は何人いましたか。

【確認】主語を見つけることはできますか。

主語を代名詞にかえることはできますか。

◇「 Does Stacy live with her family now? – Yes, ( ) does. 」の誤答を生かして、主語を適切な代名詞にかえて yes-no 疑問文に答える場面を仕組みましょう。

この疑問文の主語はどれかな。

Stacy lives ~の文が Does Stacy live ~?になったのだから Stacy が主語だ。

答えの文の主語はどうすればいいかな。

Stacy は女性の名前だから she にする。

答えの文の主語を代名詞にかえることに気を付けて書いてみよう。

主語は人かなモノかな。男の人なら he, 女の人なら she, モノなら it, 複数形なら they にかえて。

### 1年「be 動詞、一般動詞の現在形の疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



主語を正確に見つける習慣を身に付けましょう。

◇be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を理解させることに留意し、意味のある言語活動に繰り返し取り組ませるようにしましょう。その中で、疑問文の主語を見つけて、その応答文では代名詞に置き換える習慣を身に付けていきましょう。

答えの文ではどの代名詞を使えばいいかな。

he, she, it, they の代名詞を使って答える。

この疑問文の主語はどれかな。

be 動詞の疑問文では Is, Are, Am の後に主語がくる。  
一般動詞の疑問文では Do, Does, Did の後に主語がくる。

### 2年「be 動詞、一般動詞の過去形の疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



現在形の場合と比べながら、過去形の疑問文とその応答の仕方を考えさせましょう。

◇be 動詞と一般動詞の過去形の yes-no 疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴が、現在形の場合と同じことに気付かせながら理解させましょう。

- ① 1年の内容の学び直しを意識して、センテンスカードや板書、学習カードを工夫しましょう。
- ② 過去形の場合も、基本的な特徴は現在形と同じことを生徒に気付かせる工夫をしましょう。
- ③ 1年と同じ様に、主語を正確に見つけて答えの文では代名詞に置き換える習慣を身に付けましょう。(板書により、主語を枠囲いして注目させるなどの工夫をしましょう)
- ④ 教科書本文のQ-A活動などで、現在形や過去形、be 動詞や一般動詞の混じった yes-no 疑問文を使い分けることができるようにしましょう。

## 中学校 2 年英語【4】解説シート

### ◆問題

本文の内容について、次の質問に英語で答えなさい。答えは（ ）内に1語ずつ書きなさい

【4】 When does Stacy play tennis?

( ) ( ) ( ) ( ) ( ).

正答 ( She ) ( plays ) ( tennis / it ) ( every ) ( Sunday ).

### ◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について、疑問詞を使った簡単な質問を理解し、適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の **I like tennis very much. I play it every Sunday.** に着目すること、**Stacy** を代名詞の **she** にかえること、一般動詞の **play** を主語に対応させて **plays** にすることが求められる。

### ◆学習指導要領との関連

#### 2 内容

##### (1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

##### (3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(**can, do, may** など)で始まるもの、**or** を含むもの及び疑問詞 (**how, what, when, where, which, who, whose, why**)で始まるもの

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

| 1◎ | She plays tennis / it every Sunday. と解答しているもの        | 人 | % |
|----|--|---|---|
| 2  | She plays tennis / it について、動詞の s がないもの               |   |   |
| 3  | She plays tennis / it について、主語が She でないもの             |   |   |
| 4  | She plays tennis / it は書けているが、every Sunday が間違っているもの |   |   |
| 9  | 上記以外の解答  |   |   |
| 0  | 無解答  |   |   |

<過去の調査における正答率>

| 過去の類題       | 正答率   | 過去の類題     | 正答率   |
|-------------|-------|-----------|-------|
| 20年度県学力実態調査 | 17.6% | 22年度 P 問題 | 29.6% |
| 21年度 P 問題   | 25.8% | 22年度 C 問題 | 48.9% |
| 21年度 C 問題   | 20.7% |           |       |

## 中学校 2年英語【4】指導シート

### 補充・補完指導

ここがポイント



誤答を活用しましょう。

【分析】 She play tennis every Sunday と解答している生徒は何人いましたか。

【確認】 主語が3人称・単数 (He, She, It, 人の名前等) であることに気付けますか。

主語が3人称・単数で現在形の平叙文の場合は、動詞に-(e)sをつけることができますか。

疑問詞 when の意味を理解していますか。

◇ 「When does Stacy play tennis? - She play tennis every Sunday.」の誤答を生かして、読み取った内容を英文で答える際に、文法面で正しく書いて答える場面を仕組みましょう。

答えの文 She play tennis の主語は She だけど、動詞は play のままでいいかな。

主語が She の時は play に s がついて plays になる。

主語がどんな時に、動詞に(e)sがついたかな。

三・単・現の(e)s だ。主語が3人称・単数で現在形の時は、動詞に s や es がつく。

書いて答えることで、主語によって動詞に(e)sがつく場合を再確認しよう。

主語を確認

He, She, It, 人名等の時は注意

動詞に(e)sをつける。書いて確認して。

### 1年「wh-疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



主語を確認して動詞を使う習慣を身に付けましょう。

◇ wh-疑問文とその応答の仕方の基本的な特徴を理解させることに留意しながら、まとまりのある英文の読み取りだけでなく、文法面でも正しく答えることができるようにしましょう。そのために、Q-A活動を口頭のみで終わらせるのではなく、文法面での指導も大切にするために、書くことで、主語を確認して動詞を使う習慣を身に付けましょう。

この疑問文の主語はどれかな。

疑問文の主語と答えの主語を見つけて...

答えの文では動詞はこのままでいいかな。

主語が He, She, It, 人名等の時は動詞に(e)sがつく。答えの英文を書いて確認して。

### 2年「教科書教材の英文についてのwh-疑問文とその応答文」の指導

ここがポイント



wh-疑問文とその応答の仕方に繰り返し慣れさせましょう。

◇教科書教材のまとまりのある英文についてのQ-A活動でも、口頭での確認だけで終わらせてしまいがちです。2年生では、さらに計画的にポイントを絞って、書くことで文法面の指導をする場面を繰り返し位置付けましょう。

①疑問詞を使った簡単な質問(疑問文)の意味が理解できているか確認しましょう。

②文中のどの英文についての質問か自覚できるように、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けましょう。

③教科書本文のQ-A活動などで、5w1h等の様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。計画的にポイントを絞ったQ-A活動にしましょう。

## 中学校 2 年英語【5】解説シート

### ◆問題

【5】 あなたがよくすること（スポーツや趣味など）と、そのことについての気持ち（おもしろい、難しいなど）を英語 2 文で書きなさい。

### 正答例

- 例 1) I (often) play soccer . I like it very much.
- 
- 例 2) My favorite sport is baseball. It's interesting.
- 
- 例 3) I practice the guitar on Saturday. It's difficult.

### ◆出題の趣旨

身近な場面、特に自分自身について、2 文で紹介文を書くことができるかどうかをみるものである。ここでは、書く内容を構想する力、正しく文を書く力が求められる。

### ◆学習指導要領との関連

#### 2 内容

(1) 言語活動 エ 書くこと

(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

### ◆解答類型及び過去の調査における正答率

<解答類型> ○解答として求める条件をすべて満たしている正答  
 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答（準正答）

| 1◎ | 内容的にも文法的にも正しく 2 文書けているもの                   | 人 | % |
|----|--|---|---|
| 2○ | つづり及び大文字・小文字の間違があるが、内容的に理解できる 2 文が書かれているもの |   |   |
| 3  | 文法的な間違があるが、内容的に理解できる 2 文が書かれているもの          |   |   |
| 4  | 内容的にも文法的にも正しいが、1 文だけ書かれているもの               |   |   |
| 5  | つづり及び大文字・小文字の間違があるが、内容的に理解できる 1 文が書かれているもの |   |   |
| 6  | 文法的な間違があるが、内容的に理解できる 1 文が書かれているもの          |   |   |
| 9  | 上記以外の解答                                    |   |   |
| 0  | 無解答  |   |   |

| 過去の類題        | 正答率   | 過去の類題      | 正答率   |
|--------------|-------|------------|-------|
| 20 年度県学力実態調査 | 33.8% | 22 年度 P 問題 | 69.8% |
| 21 年度 P 問題   | 27.6% | 22 年度 C 問題 | 32.5% |
| 21 年度 C 問題   | 29.6% |            |       |

## 中学校2年英語【5】指導シート

### 補充・補完指導



誰を主語にするか考えさせましょう。

【分析】無解答や1文しか書くことができなかった生徒は何人いましたか。

【確認】誰について書くのか考えられたでしょうか。

[主語+動詞 ~ ]の語順で正しく書くことができますか。

◇主語を明らかにして書くことを意識付ける場面を仕組みましょう。

誰のことを書くのかな。

自分のことだ。

英文は何で始めればいいのか。

I かな。My favorite sport もいいかな。

自分のことについてどんなことを書きますか。主語と動詞に注意して書こう。

することは、I play baseball.  
おもしろいので、It is interesting.

### 1年「まとまりのある文章を書くこと」の指導

ここがポイント



段階を踏んだ指導をしましょう。

◇条件英作文から自由英作文へと段階を踏んだ指導をしましょう。

(条件英作文例) 友だちの紹介文(2文程度)・・・書く内容を提示することから始めましょう。

一人の友だちについて、「名前」「好きなこと」を、○○ is my friend. He likes ~.を使って書きましょう。

Ken is my friend.  
バスケットが好きだから。  
He likes basketball.

(自由英作文例) 別の友だちの紹介文(2文程度)・・・話題を提示し、書く内容も考えさせましょう。

まずは、誰を書くのか決めよう。

友だちの浩二さんにしよう。

書く内容を決めましょう。

浩二さん・・・サッカーが好き。この前書いた英文が使いそうだな。

英文にしてみよう。

Koji is my friend. He likes soccer.

### 2年「まとまりのある文章を書くこと」の指導

ここがポイント



目的をもって書く機会を増やしましょう。

◇英文を「書くこと」へのハードルを低くする工夫をし、繰り返し指導しましょう。

- ①導入時に、教師が話題に関連した話をするなど、生徒が書きたくなるような場面を設定したり、書くための型(表現)を提示したりして、「書くこと」へのハードルを低くする工夫をしましょう。
- ②書く内容について構想する手だてを工夫しましょう。(メモ、ウェビングなど)
- ③文の完成後は、教師が添削をし、生徒が英文の正しさにも目を向けるようにしましょう。
- ④「時間をかけて構想を練った上で書く活動」と「短時間で与えられたテーマについて書く活動」の両方をバランスよく位置付けましょう。